

JISSEN

～実践イケメン特集～

▽ハワイ研修

▽三千院参拝

▽実践真宗学研究科 活動紹介



free

イケメン僧侶特集

No.1

はらだ しんや
原田 真哉

1994年 1月13日

広島県出身

◎質問コーナー

- ・毎日必ずやることは？
⇒自分のスマイルチェック

きもと こうえい
木本 晃英

1993年11月25日

京都府出身

◎質問コーナー

- ・自分の好きなのは？
⇒毎月一回は綺麗に
刈りそろえている襟足

No.2

みかみ あつのり
三上 淳教

No.3

1993年 3月20日

山口県出身

◎質問コーナー

・マイブームは？

⇒アルバイトの中で社会の

厳しさを学ぶこと

はら たいしん
原 大真

1993年 9月 2日

宮崎県出身

◎質問コーナー

・趣味は？

⇒サイクリングとボードゲーム

No.4

くまわに しんぎょう
熊鰐 信行

1993年 6月11日

福岡県出身

◎質問コーナー

・今おすすめすることは？

⇒Aimer（歌手）

ぜひ、聴いてみてください

No.5

April 入学式



年間

July 部会企画



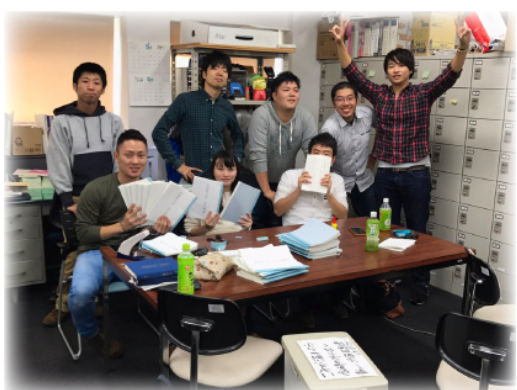
May 親睦会

毎年、新入生の歓迎会を開催し、大院生の親睦を図る。
盛り上がっています（笑）毎年

August ハワイ研修



October 念仏研修



July ビハーラ一日実習

京都府城陽市にある、特別養護老人ホームビハーラ本願寺とあそかビハーラ病院にて一日見学実習を行った。

行事

November 実践報恩講



November

実践真宗学研究科公開シンポジウム

「お寺ってなんだ！？～求められる寺院の姿～」先生方をお招きし、公開シンポジウムを開催。

December ビハーク報恩講



December 宗教間対話実習



January 部会企画



September 真宗学会鹿児島研修

龍谷大学真宗学会における鹿児島研修に参加。隠れ念仏など真宗の歴史ある場所を訪れた。

Hawaii 研修

概要

ハワイ研修とは、真宗伝道学特研究においてハワイにて研修をさせて頂くことです。ハワイへの伝道は、日本人のハワイ移民の歴史と深い関わりを持っています。

実際に現地で多くのことを学ぶため、
ハワイで研修をして参りました。



ヒロ別院

メンバー（門徒）を中心としていることが海外の特徴であり、メンバー（門徒）中心の寺院のあり方が見られました。

プナ本願

リフレッシュメント（軽食）を用意して Sunday Survice（日曜礼拝）への参加を呼び掛けるなど、寺院活動に関する多くの工夫が見られました。

パールハーバー

海外開教の歴史と深く関係する日系人の歴史と、第二次世界大戦を改めて学び直し、仏教と平和の学びを深めることができました。

三回生 いで だいしん
井出 大心

観光地として有名なハワイで
過去、ハワイに渡った日本人がど
れだけの苦勞を重ね、そして、そ
こで浄土真宗がどれだけ求めら
れ、苦勞の中で伝道されてきたか
ということが、実際に肌で感じる
ことができました。



二回生 おくだ しょうご
奥田 省吾

異文化社会での実習を
通して、国内伝道だけ
では気付かなかった視
座を会得できます！



プランテーション
ビレッジ

この施設は、ハワイへ労働者として、
やって来た当時の移民の生活の様子
を、再現し保存している施設であり
ます。ここで、日系のボランティア
の方に、日本語で移民の歴史や様子
について、お話を聞くことができ、
ハワイの悲しみの部分を感じること
ができました。

ハワイ別院

ここでは、まず、美しい外観
に驚かされました。
また、内陣の荘厳も立派で、
ハワイでの浄土真宗の伝道の
歴史を感じることが出来たよ
うに思います。

パンチボウル

お墓を見ると、仏教徒の方のお
墓には、仏教のシンボルである
法輪が彫られており、自分の宗
教を大事にしている様子がうか
がえ、日本とは違うアメリカら
しさを見ることが出来ました。

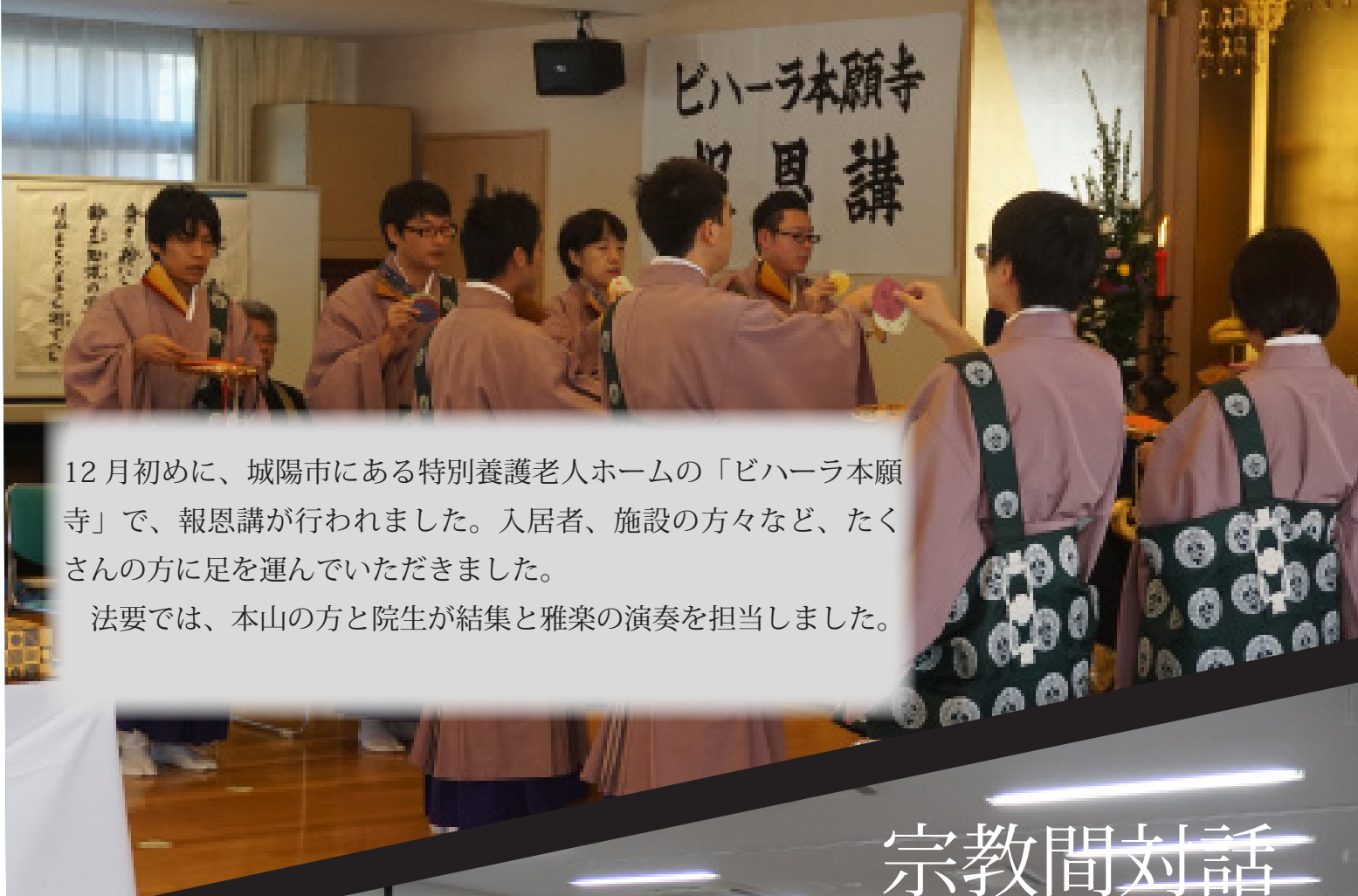
実践報恩講 11/23



実践真宗学研究科の研究生で、毎年大宮本館講堂において、報恩講のお勤めをさせていただいております。



ビハーラ報恩講



12月初めに、城陽市にある特別養護老人ホームの「ビハーラ本願寺」で、報恩講が行われました。入居者、施設の方々など、たくさんの方に足を運んでいただきました。

法要では、本山の方と院生が結集と雅楽の演奏を担当しました。

宗教間対話



NCC 日本キリスト教協議会による日本の宗教との対話プログラムの一環として、毎年留学生と交流、対談を行う。本願寺参拝、対話実習、また歓迎パーティーなどを通して交流を深め、対談では宗教活動における課題やまたそれぞれの思いなどを話し合った。異なる宗教間で理解を深め合い、情報交換を行うことで、新たな角度からの実践活動をみつめるものである。

活動紹介



facebook 「LIFE SONGS お寺×音楽」

twitter @LIFESONGS8



おくだ しょうご
代表 奥田 省吾

LIFE SONGS とは、京都のお寺を借りて、アコースティックギターによる弾き語り音楽ライブを開催するイベントのことです。LIFE SONGS では毎回テーマを設定し、テーマに沿いながら、音楽を通して「いのち、人生を考える」ことを目的としています。2016年7月10日に、京都の一念寺にて開催した、第一回 LIFE SONGS「人生、最後に聴きたい曲」では、来場者で本堂が満員になり賑わいました。同年10月12日、龍谷大学深草キャンパス顕真館にて、第一回目と同様に「人生、最後に聴きたい曲」というテーマで行われ、多くの若い学生が来場しました。

LIFE SONGS では、毎回アンケートを採っており、集計したアンケートの回答では、今回のイベントを通して、「死」を考える良い機会になったという意見や、堅苦しいお寺というイメージが変わった等、多くの賞賛の声を頂きました。

皆様のご来場をお待ちしております

Jissenjya Project



◆ジッセンジャープロジェクトは龍谷大学大学院 実践真宗学研究科で行われている活動であり、仏教の教えをヒーローショーとして表現する、浄土真宗における新しい伝道の形の一つです。

◆2017年現在、3回生2人2回生4人の合計6人で活動しています。各地の寺院に赴き、子どもたちに自分のことを見守ってくれる存在がいるという「安心」自分のことを思ってくれる人との「つながり」単純な善悪を超えた「新しい視点」を伝えるべく活動しております。

◆活動報告はジッセンジャー Facebook ページにておこなっております。是非、ご覧ください。また、ご質問や講演依頼は Gmail までお問い合わせください。

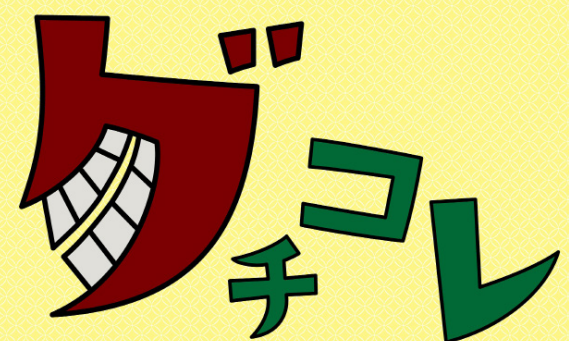


グチコレ



◆『グチコレ』とは「グチコレクション」の略であり、主に京都タワー前で街行く人々の愚痴を聞き、集め、個人情報保護のもとサイトで公開していく活動をしています。悩み多き現代人には、溜め込んだ愚痴をこぼす場所が必要なのかもしれません。あるいは公開された他人の愚痴に共感し、気持ちが少し和らぐことがあるかもしれません。

◆愚痴は悪口や弱音のようにネガティブに捉えられがちですが、私たちは愚痴を本音と向き合うポジティブなものと捉え、気軽に愚痴を言える社会を作っていきたいと思っています。



出版・企画部会 活動

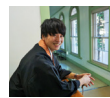
5 : 4 5 集合
(遅刻者あり)

6 : 3 0 キリスト教会 見学

7 : 3 0 移動

8 : 0 0 大雪 発生

8 : 1 5 大雪の中
外にて朝食



宗教観について、視野が広がりました。



仏教とは違う雰囲気が新鮮でした。



大聖堂がすごく綺麗でした。



雪が降って、この時期ならではの、
三千院の魅力が感じられました。



阿弥陀如来像は迫力ありました。



雪の中の三千院は、歩くのが大変でしたが、
風情があって楽しかったです。

8 : 4 0 三千院 到着

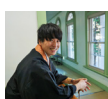
9 : 0 0 三千院 参拝

1 0 : 4 5 勝林院 参拝

1 1 : 3 0 三千院にて
昼食 (お蕎麦)

1 2 : 3 0 移動

1 3 : 0 0	嵐山付近	散策
1 3 : 2 0	休憩	(抹茶を堪能)
1 4 : 0 0	二尊院	参拝
1 5 : 3 0	嵐山	(銭湯へ)
1 7 : 0 0	解散	



お墓の数も多くあり、二尊院ならではの、雰囲気も味わえました。



法然上人のお墓と言われる所を見学でき、歴史に触れることができ嬉しかったです。



とても、歴史を感じるところでした。

～伝灯奉告法要～ 参拝

ご門主のお代替わりを、仏祖の御前に奉告する法要に、私たち実践真宗学研究科の研究生も参拝して参りました。



「私のそばにも阿弥陀さま」

私はお寺で月に一回ご門徒さん向けに小さな法座を開かせていただいています。人前でお話しをするにあたり「自分は本当に心から仏さまを信じているのか？」という悩みがあり、自信を持てぬまま日々を過ごしておりました。

お寺におこしになる方の中に、いつも阿弥陀さまに手を合わせお念仏するおばあちゃんがありました。法座での私の話もにこにここと聞いてくださる方でしたが、この優しいおばあちゃんとの関わりの中で思いもかけず悲しい気持ちを味わう出来事がありました。法座が終わり、横に座っていたおばあちゃんがぼつりと「ほんとにありがたいねえ、なんまんだぶつ、なんまんだぶつ」と、仏さまへ手を合わせしみじみと言われました。この言葉は、本当はとても温かい言葉のはずです。しかし信心について悩んでいた私は、素直に阿弥陀さまに感謝しておられる姿に引け目を感じ、ますます自分が恥ずかしくなり、何だか悲しくなってしまったのです。

観経には、全てのいのちを我がことのように心配し、助けずにはいられないという阿弥陀さまのおこころを「大悲心」と説かれています。また大悲心は、救いから逃げようとする者を追いかけて握め取るというおはたらきでもあります。信心とは私たちを抱きとめてくださるおはたらきに、疑いなく身を委ねるということです。自らはからいで何かを信じていることが信心だと思い必死にあがき、その実は仏さまに背を向け見当違いの方向に一生懸命になっていた。そんな私をこそ、阿弥陀さまは救おうとしてくださっていたのです。

私を悲しい気持ちにさせていたあの言葉はそのまま、おばあちゃんにだけでなく私のそばにも仏さまはいらっしゃり、何より私を目当てとして抱きしめてくださっているのだよ、ということを知ってくれる嬉しい言葉になったのです。こんな私を見捨てまいとしてくださる仏さまのことを思うと、「ありがたい」「もったいない」という思いが湧きあがり、私は自然とおばあちゃんの横で一緒に手が合わさり、お念仏させていただけになったのです。



実践真宗学研究科 2 回生

やました あきら
山下 顕

編集後記

今回、何から何まで初めてだったので、手探りの状態でした。
そのこともあり、多々至らぬところもありましたが、スキル
を磨くことができ、いい経験になりました。
手に取っていただきありがとうございました。

information

〒 600-8268

京都市下京区七条大宮東入大工町 125-1

龍谷大学清風館 3F 実践真宗学研究科合同研究室

TEL: 075-366-0621

『JISSEN no.7』

6月1日発行

発行：実践真宗学研究科

製作：実践真宗学研究科出版部会

編集：実践真宗学研究科出版部会

※この活動情報誌『JISSEN』は、龍谷大学実践真宗学研究科の院
生が、実習の一環として主体的に取り組み発行するものです。

